

松山町埋蔵文化財発掘調査報告書 (11)

県営中山間地域総合整備事業やっちく松山地区に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

ほり  
堀 之 内 遺 跡

1996年3月

鹿児島県曾於郡松山町教育委員会

## 序 文

泰野市ノ原地区で、県営中山間地域総合整備事業で道路拡張をするにあたり、平成元年度にこの地域は埋蔵文化財の包蔵地にあたるので、堀之内遺跡を平成8年2月8日から平成8年3月4日までの間発掘調査をしました。調査面積は48㎡になりました。

この遺跡のすぐ近くに平成4年に発掘調査が行われた京ノ峯遺跡があります。京ノ峯遺跡ではまだ県内でも発見されていない円形周溝墓と呼ばれる弥生時代の墓が20基も見つかりました。またそのすぐ近くに県内でも有名な前谷遺跡があります。このように堀之内遺跡の周辺は貴重な遺跡が多いところです。今回の調査でも貴重な資料が発見されるかと期待していましたが、遺物が出土し遺跡の範囲も把握されましたが、住居跡などの遺構は発見されませんでした。調査した面積も狭い範囲だったためでしょうか。住居跡などの重要な遺構はそう簡単には見つからないものだと実感しました。

最後になりましたが、積極的に発掘調査に従事していただいた方々、また精力的に御指導いただいた県教育庁文化課の先生方に厚く御礼申し上げます。

平成8年3月

松山町教育委員会

教育長 川 畑 禮 二

## 例 言

1. 本報告書は、平成7年度に実施した県営中山間地域総合整備事業やっちく松山地区に伴う埋蔵文化財発掘確認調査報告書である。
2. 発掘調査は県の受託事業として松山町教育委員会が実施した。
3. 発掘調査の実施及び実測は上田義明が行った。
4. 発掘調査の現場写真・遺物写真は上田義明が撮影した。
5. 本書に用いたレベル数値はすべて海拔絶対高である。
6. 本報告書の執筆・編集は上田義明が行った。
7. 発掘調査後の整理事業は松山町歴史民俗資料館で行った。
8. 出土遺物は、報告書作成終了後、松山町歴史民俗資料館で保管し、展示・活用する計画である。

## 報告書抄録

ふりがな	ほりのうちいせき				
書名	堀之内遺跡				
副書名	県営中山間地域総合整備事業やっちく松山地区に伴う発掘調査報告書				
巻次					
シリーズ名	松山町埋蔵文化財発掘調査報告書 (11)				
シリーズ番号					
編著者名	上田 義明				
編集機関	松山町教育委員会				
所在地	〒899-76 鹿児島県曾於郡松山町新橋268番地				
発行年月日	1996年3月31日				
ふりがな	ほりのうちいせき				
所収遺跡名	堀之内遺跡				
所在地	鹿児島県曾於郡松山町泰野堀之内				
調査期間	1996. 2. 8～3. 4				
調査面積	48㎡				
調査原因	県営中山間地域総合整備事業 やっちく松山地区				
出 遺 物 ・ 遺 構 等	主な時代	主な遺構	主な遺物	出土量	特記事項
	縄文時代		縄文時代晩期	パンケース 1箱	

# 本文目次

序文

例言

報告書抄録

第1章	調査の経過	1
第1節	調査に至るまでの経過	1
第2節	調査の組織	1
第3節	調査の経過	2
第2章	調査の概要	5
第1節	調査の概要	5
第2節	標準土層	5
第3節	各トレンチの調査	6
第3章	まとめ	9

# 挿図目次

第1図	堀之内遺跡位置図	3
第2図	堀之内遺跡トレンチ配置図	4
第3図	土層模式柱状図	5
第4図	第1トレンチ遺物出土状況・東壁層位断面図	6
第5図	堀之内遺跡出土遺物	7
第6図	第2トレンチ遺物出土状況・東壁層位断面図	7
第7図	第3トレンチ北壁層位断面図	8
第8図	第4トレンチ北壁層位断面図	8
第9図	第5トレンチ北壁層位断面図	9
第10図	第6トレンチ北壁層位断面図	9

# 表目次

第1表	出土土器観察表	6
-----	---------	---

# 図版目次

図版1	第1トレンチ遺物出土状況	10
図版2	第2トレンチ遺物出土状況	10
図版3	第1トレンチ東壁層位断面図	11
図版4	第4トレンチ北壁層位断面図	11
図版5	第5トレンチ北壁層位断面図	12
図版6	第6トレンチ北壁層位断面図	12

## 第1章 調査の経過

### 1) 調査に至るまでの経過

鹿児島県農政部（大隅耕地事務所）は、曾於郡松山町泰野市ノ原工区において県営中山間地域総合整備事業を計画し、実施計画地区内における埋蔵文化財の有無について、鹿児島県教育委員会文化課に照会した。

これをうけて、平成7年4月、文化課で当該地区の分布調査を実施したところ、工事実施予定区域内に掘之内遺跡の存在していることが確認された。この結果に基づき、松山町教育委員会が調査主体となって、遺跡の範囲・性格等を把握するための発掘確認調査を実施することとなった。

発掘調査は、鹿児島県農政部（大隅耕地事務所）からの受託事業として、松山町教育委員会が調査主体となり、県文課の協力を得て、平成8年2月8日から平成8年3月4日まで実施した。調査面積は計48㎡である。

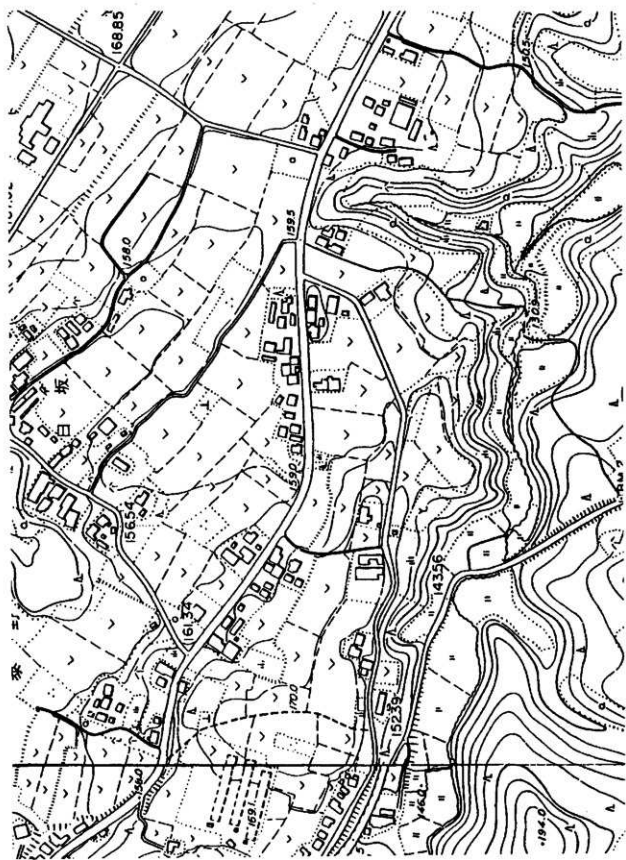
### 2) 調査の組織

調査主体者	松山町教育委員会		
調査責任者	松山町教育委員会	教 育 長	川畑 禮二
調査事務担当者	〃	管 理 課 長	白坂 泰雄
	〃	参事兼指導主事	新村 隆実
	〃	主 査	後藤 由紀子
	〃	主 事	加世田 和彦
	〃	社会教育課長	古井 宏徳
	〃	派遣社会教育主事	祖母仁田政明
	〃	主 事	上田 義明
	〃	主 事	山下 博文
	〃	社会教育指導員	寺山 重隆
	〃	庶 務 係	早崎 ゆう子
調査担当者	松山町教育委員会	主 事	上田 義明

なお、調査の企画等において、県教育長文化課長立園多賀生氏、同課長補佐今別府修一氏、同主任文化財研究員兼埋蔵文化財係長戸崎勝洋氏、同企画文化係長平野誠一氏の各氏のほか同企画助成係の指導助言を得た。

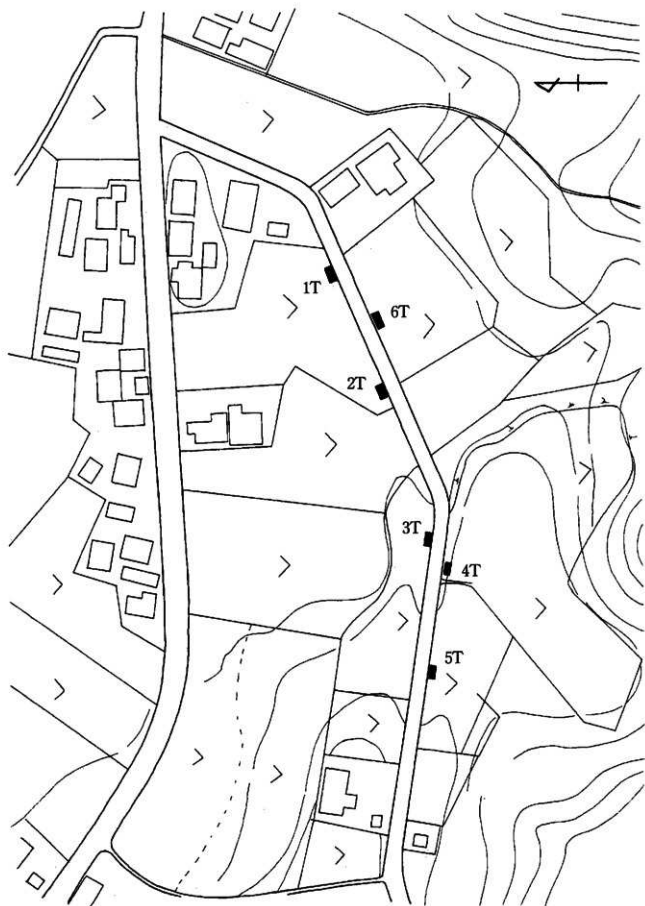
### 3) 調査の経過

- 2月8日(木) 調査開始。調査機材の搬入。発掘調査についての説明。第1トレンチ・第2トレンチ設定。2層面掘り下げ。3層より縄文晩期の土器出土。
- 2月9日(金) 第1トレンチ・第2トレンチ4層検出。出土遺物なし。4層上面より縄文晩期の土器出土。
- 2月14日(水) 第1トレンチ5層検出。出土遺物なし。第3トレンチ・第4トレンチ・第5トレンチ設定。第3トレンチ3層検出。出土遺物なし。
- 2月15日(木) 第1トレンチ8層検出。第3トレンチ5層検出。出土遺物なし。
- 2月16日(金) 第3トレンチ6層検出。第2トレンチ5層検出。出土遺物なし。
- 2月19日(月) 第3トレンチ8層検出。第2トレンチ7層検出。出土遺物なし。
- 2月20日(火) 第2トレンチ8層検出。第4トレンチ2層掘り下げ。出土遺物なし。
- 2月21日(水) 第4トレンチ4層検出。第5トレンチ3層検出。出土遺物なし。
- 2月22日(木) 第4トレンチ5層掘り下げ。第5トレンチ4層掘り下げ。出土遺物なし。
- 2月23日(金) 第4トレンチ6層掘り下げ。第5トレンチ5層掘り下げ。出土遺物なし。
- 2月26日(月) 第4トレンチ7層検出。第5トレンチ6層掘り下げ。出土遺物なし。
- 2月27日(火) 第5トレンチ7層検出。出土遺物なし。第6トレンチ設定。
- 2月28日(水) 第5トレンチ8層検出。第6トレンチ4層掘り下げ。出土遺物なし。
- 2月29日(木) 第6トレンチ5層検出。出土遺物なし。
- 3月1日(金) 第6トレンチ7層検出。出土遺物なし。
- 3月4日(月) 第6トレンチ8層検出。出土遺物なし。第1～6トレンチ位置図・層位断面図実測。写真撮影。全調査終了。調査機材の搬出。



第1図 堀之内遺跡位置図





第2図 堀之内遺跡トレンチ配置図

## 第2章 調査の概要

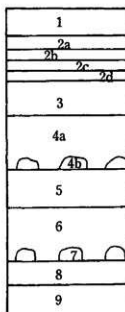
### 1) 調査の概要

調査区域は、松山町秦野堀之内にあり、秦野西側をほぼ全域見渡せる独立した約165m～170mの丘陵の東端に位置する。県道から前谷遺跡方面に伸びる町道が拡幅される予定の範囲で、地形的に残りの良い地点を中心に2m×4mのトレンチを6ヶ所設定して行った。

その結果第1トレンチ、第2トレンチの3層及び4a層より縄文時代晩期の土器が数点出土し、石器も数点出土した。遺構等は確認されなかった。

### 2) 標準土層

- 1層 暗褐色耕作土。色調により2～3層に区分できる。
- 2a層 黒色腐植火山灰土層。黒色微粒の植壊土で、やや粘質を帯びる。
- 2b層 黒色土層。かなり硬くしまった層で、10cm前後の厚さでほぼ水平に堆積している。
- 2c層 灰褐色土層。かなり硬くしまった層で、砂粒を若干含む。10cm前後の厚さでほぼ水平に堆積している。
- 2d層 黒色土層。かなり硬くしまった層で、10cm前後の厚さでほぼ水平に堆積している。2b層、2c層、2d層とも第1トレンチにしかみられない層である。
- 3層 明黄褐色軽石質火山灰土層。きわめて淘汰のよい直径5mm前後の黄褐色軽石を含み、サラサラしている。霧島火山御池軽石層に対比できるものと思われる。
- 4a層 褐色腐食火山灰土層。直径1mm前後の黄橙色軽石を多く含む。4b(アカホヤ)層の二次堆積層とおもわれる。
- 4b層 明褐色火山灰土層。上位のフカフカした新鮮な火山灰と下位の砂粒、火山豆石を含む薄層理層とに区分できる。安定した層をなさず5層下部にブロック状に点在している場所も見られる。鬼界カルデラ起源のアカホヤ層に対比できる。



第3図  
土層模式柱状図

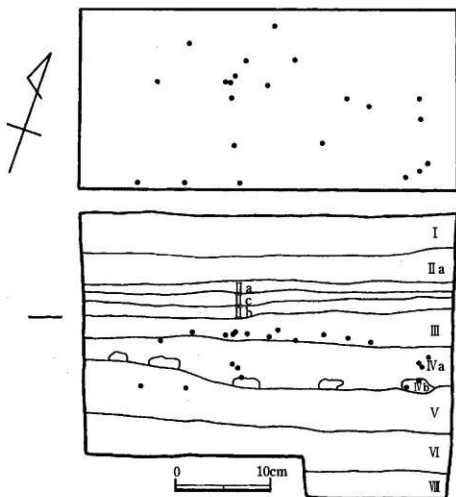
- 5層 灰褐色火山灰土層。直径1cm前後の黄橙色軽石および直径5mm前後の青灰色安山岩小礫を多く含む。
- 6層 黒褐色腐食土層。直径5mm前後の黄橙色軽石および直径5mm前後の青灰色安山岩小礫を多く含む、割合に硬くしまっている。5層との境は不明瞭で漸移している。
- 7層 黄褐色火山灰土層。割合に硬くしまった粘土化した火山灰土で、6層下部にブロック状にはいる。桜島起源の「薩摩層」に対比できる。
- 8層 明褐色粘質土層。きわめて砂粒の粘質を帯びたソフトローム層である。
- 9層 淡黄褐色火山灰土層。粘質化した二次シラス層である。

### 3) 各トレンチの調査

#### 第1トレンチ

調査区域の東端に位置する4m×2mで設定したトレンチで、長軸はほぼ東西を向く。耕作土直下の2b層、2c層、2d層はかなり硬くしまった層で、人為的な層である。3層から4層、一部は5層にかけて縄文時代晩期及び中期の土器が出土した。(第5図参照)

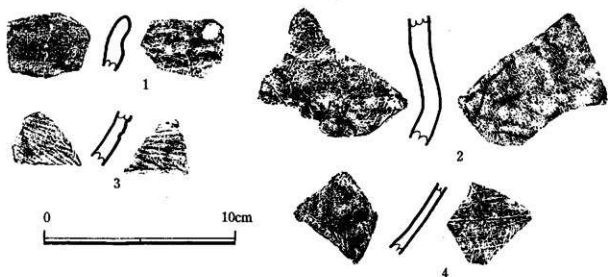
1は口唇部が「く」の字状くぼむ口縁部片である。2は胴部にかけて外に張り出す器形で



ある。1と2ともに深鉢である。3は外面に2条の沈線を有する胴部片である。4は無文胴部片である。3、4とも浅鉢で、内外面とも工具によるケズリの後ナデ調整を行っている。この他にアカホヤ層の直下より2点土器が出土しているが、縄文時代中期に該当するものと思われるが、小片のため図化できなかった。

第4図 第1トレンチ遺物出土状況・東壁層位断面図

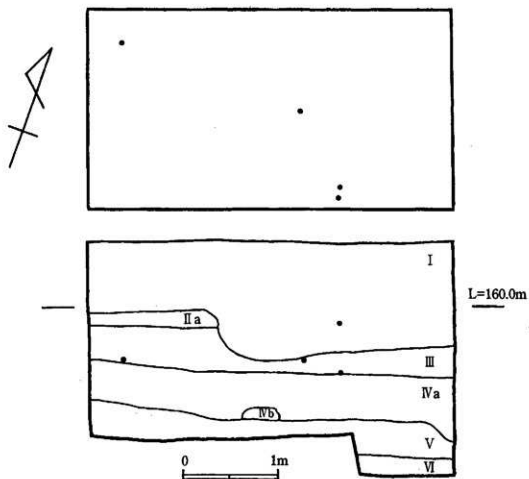
遺物 番号	層	胎 土	焼成	色 調		内面 調整	文 様 そ の 他
				外面	内面		
1	3	石英・長石・細砂礫	良好	暗褐色	暗褐色	ナデ	
2	3	石英・長石・細砂礫	良好	茶褐色	褐色	ナデ	
3	4a	石英・長石・細砂礫	良好	黒褐色	暗褐色	ナデ	内外面とも工具によるケズリの後ナデ
4	4a	石英・長石・細砂礫	良好	黒褐色	褐色	ナデ	内外面とも工具によるケズリの後ナデ



第5図 堀之内遺跡出土遺物

第2トレンチ

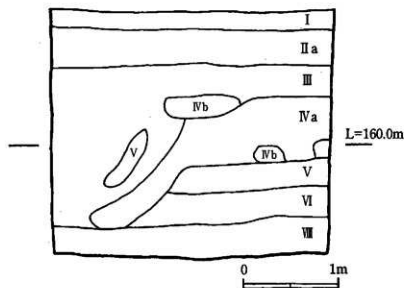
第1トレンチの西約50mに位置し、4m×2mで設定したトレンチで長軸はほぼ東西に向く。3層を掘り込んで溝状の落ち込みがあったが、その性格は確認できなかった。3層より縄文時代晩期の土器が数点出土しているが、すべて小片であったため図化できなかった。



第6図 第2トレンチ遺物出土状況・東壁層位断面図

### 第3トレンチ

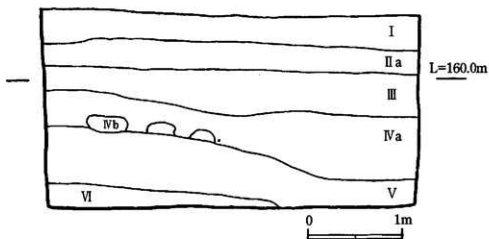
第2トレンチの西約60mに位置し、3m×2mで設定したトレンチで長軸はほぼ東西に向く。このトレンチからは人工の遺物は出土しなかった。トレンチ西側に局部断層が検出された。4b層と5層が一部逆転している。トレンチ西隅の3層より下は層が乱れ6層、7層が混在している状態である。



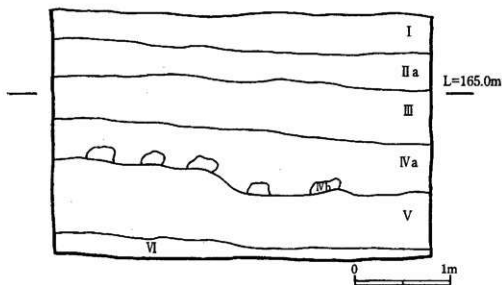
第7図 第3トレンチ北壁層位断面図

### 第4トレンチ

第3トレンチから町道を挟んで南側約5mに位置し、4m×2mで設定したトレンチで長軸はほぼ東西に向く。2a層より大正年間の桜島の火山灰が確認された。土器、石器とも出土しなかった。



第8図 第4トレンチ北壁層位断面図

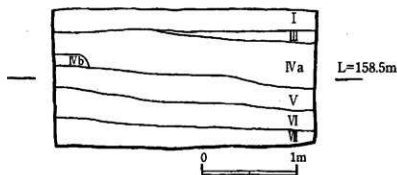


第9図 第5トレンチ北壁層位断面図

第5トレンチ  
調査区域の西  
端に位置し、  
4m×2mで設定し  
たトレンチで長  
軸はほぼ東西に  
向く。町道より  
も約1m50cmほ  
ど高く層の残り  
も良かったが、  
土器、石器とも  
に出土しなかつた。

#### 第6トレンチ

第1トレンチと第2ト  
レンチの中間に位置し、  
町道よりも約70cmほど低  
くなった畑地に3m×2m  
で設定したトレンチで長  
軸はほぼ東西を向く。3  
層より上層は既に削平を  
受けている。土器、石器  
ともに出土しなかつた。



第10図 第6トレンチ北壁層位断面図

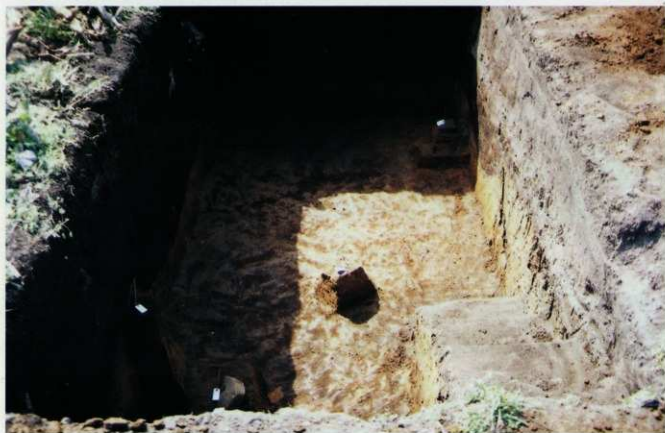
### 第3章 まとめ

今回の調査では第1トレンチと第2トレンチから縄文時代晩期の土器片が出土した。遺跡の範囲は道路拡張に伴う確認調査だったため、完全に把握できなかったが、第1・第2トレンチを設定した畑地がほぼ遺跡の中心と思われる。堀之内遺跡は昭和60年に発掘調査が行われた前谷遺跡、平成3年に発掘調査が行われた京ノ峯遺跡に近いため、かなりの資料が得られるものと期待されたが、前谷遺跡から出土した縄文時代中期の春日式土器は出土しなかつた。しかし、第1トレンチより出土した縄文時代晩期の深鉢、浅鉢の土器片は京ノ峯遺跡出土のものと同じタイプである。また、この他に町内では牧ノ原遺跡からも同じタイプの土器が出土している。





図版1 第1トレンチ遺物出土状況



図版2 第2トレンチ遺物出土状況





図版3 第1トレンチ東壁層位断面図



図版4 第4トレンチ北壁層位断面図



図版5 第5トレンチ北壁層位断面図



図版6 第6トレンチ北壁層位断面図



松山町埋蔵文化財発掘調査報告書(11)  
県営中山間地域総合整備事業やっちく松山地区  
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

## 堀之内遺跡

発行日 1996年3月  
発行 松山町教育委員会  
鹿兒島県曾於郡松山町新橋268番地  
印刷 志布志新生社印刷  
鹿兒島県曾於郡志布志町  
志布志東町3223-7